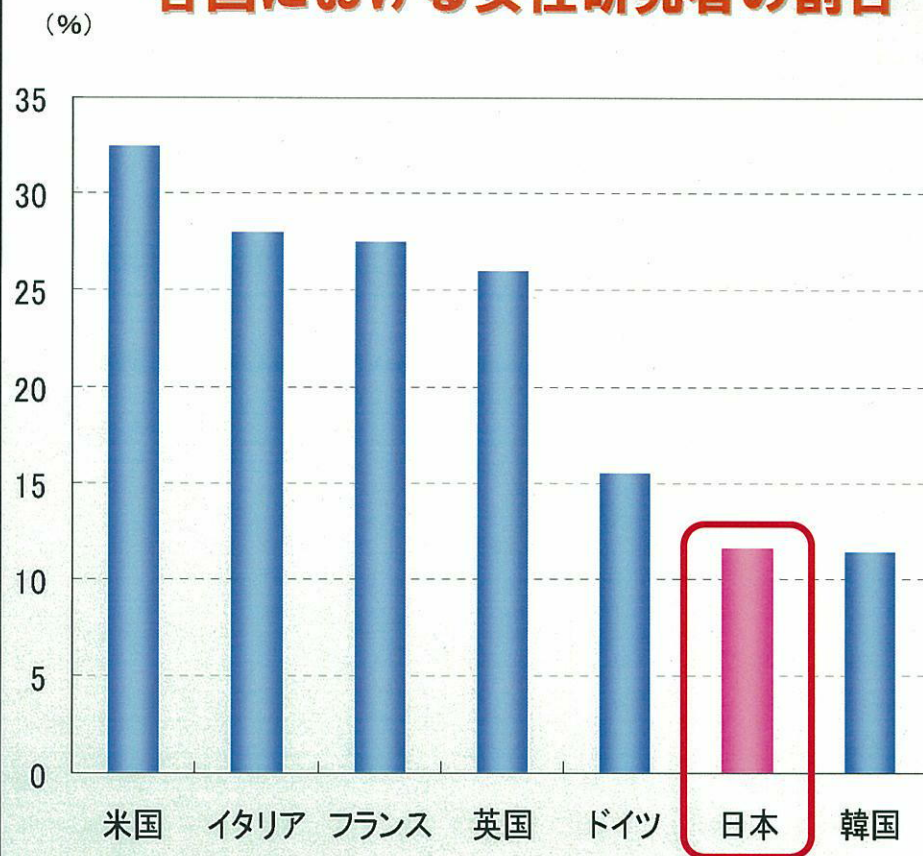


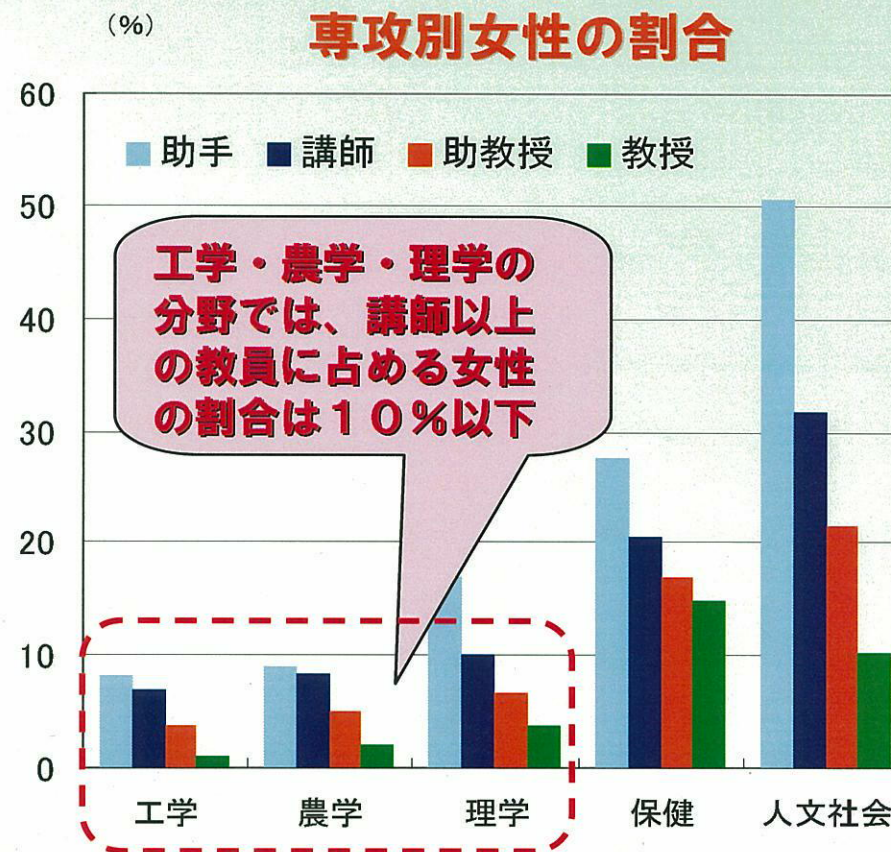
科学技術関係人材の育成・活躍の促進② ー女性研究者の育成、活躍できる環境の整備

◆ 我が国の女性研究者の割合は、国際的にみて際だって低いことから、是正していくことが必要。

各国における女性研究者の割合



我が国の大学教員における専攻別女性の割合



※ 日本、韓国は2003年、イタリア、フランス、英国、ドイツは2000年、米国は1999年。
※ 米国の数値は、「Science & Engineering Indicator 2004」においてScientistとして分類されたもの
(総務省統計、NSF統計、OECD統計、EC統計から内閣府作成)

(出典: 文部科学省、学校基本調査(2004年))